

2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）

（1）到達目標・評価の基準

ね ら い	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するに当たっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。
-------------	--

（2）内容

内 容	<p>1 人権と尊厳を支える介護</p> <p>（1）人権と尊厳の保持</p> <p>○個人としての尊重、○アドボカシー、○エンパワメントの視点、○「役割」の実感、○尊厳のある暮らし、○利用者のプライバシーの保護</p> <p>（2）ICF</p> <p>○介護分野におけるICF</p> <p>（3）QOL</p> <p>○QOLの考え方、○生活の質</p> <p>（4）ノーマライゼーション</p> <p>○ノーマライゼーションの考え方</p> <p>（5）虐待防止・身体拘束禁止</p> <p>○身体拘束禁止、○高齢者虐待防止法、○高齢者の養護者支援</p> <p>（6）個人の権利を守る制度の概要</p> <p>○個人情報保護法、○成年後見制度、○日常生活自立支援事業</p> <p>2 自立に向けた介護</p> <p>（1）自立支援</p> <p>○自立・自律支援、○残存能力の活用、○動機と欲求、○意欲を高める支援、○個別性／個別ケア、○重度化防止</p> <p>（2）介護予防</p> <p>○介護予防の考え方</p>
--------	--